

こうはた

青森市立幸畑小学校
令和6年5月28日
学校だより 第3号
文責 教頭



家庭学習の習慣化

校長 西村 健



5月25日(土)、大運動会を予定通り行うことができました。1年生にとっては、広い校庭での初めての運動会。6年生にとっては、小学校生活最後の運動会。どの学年も短い練習期間ではありましたが、来賓の皆様や保護者・地域の皆様が見守ってくださる中で、子供たちは練習の成果を十分に発揮し、全力を出し切ることができました。一生懸命に競技や演技をする子供たちの表情は素晴らしく、見ていて胸が熱くなりました。子供たちの輝く姿を見ていただけたことと思います。PTA役員をはじめ保護者の皆様のご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

さて、三大行事の一つである運動会が終わり、これからは、子供たちに落ち着いて学習に取り組ませたいと思い、今回は家庭学習の習慣化について考えてみたいと思います。

子供に「何のために勉強するの?」と聞かれた経験がある保護者の方も少なくはないと思います。テストや成績以外で勉強する意味、学習することで得られるものとは何でしょうか。

一つ目は、自己成長のために必要な知識や技能を磨くためです。知識や経験を通して精神的に成長し、自分らしさを獲得していきます。

二つ目は、努力の先にある達成感を得るためです。何かを犠牲にしたり、長期的に学習に取り組んだりすると、成果の先にある達成感は大いなものになります。

三つ目は、忍耐力や精神力を鍛えるためです。つらい時間を耐え忍び、ストレスを発散しながら学ぶ過程で不安に負けない精神力と苦しくても諦めない姿勢が身に付き、社会に出た後にも役立ちます。

四つ目は、職業選択の幅を広げるためです。AIが進化し、今ある職種の49%がなくなり、新しいものになると予想されている現在、専門的な知識を身に付け、人としての能力を高めることで、グローバルで予測不能な世の中においても、逞しく生きていくことができます。

家庭学習においては、宿題があってもなくても自然と自分から進んで机に向かうことが大切です。宿題があるから学習するとか、人に言われたから机に向かって学習するなど、受け身な態度では決して長続きしません。また、テレビやスマホやタブレットの動画・ゲームなど、心を惹きつけるものの誘惑に負けない気持ちをもつことが大切です。

家庭学習を毎日続けていくと、学習の仕方が分かるだけでなく、進んで学習する楽しさにも気付くようになります。それが、中学校そして高校へ進むとき、自分自身の大きな力になっていきます。

小学生にとって、望ましい家庭学習の時間は、一般的には学年×10分以上とされています。(本校の家庭学習の時間のめやすは、学年×10分+10分です。)当然のごとく中学校になると学習時間が更に増えます。小学校で60分以上の家庭での学習の習慣を身に付けることが、中学校でギャップを感じずに学んでいくことにつながります。

また、全校体制で昨年度から取り組んでいる家庭学習記録シートを活用していただくことで、子供の家庭学習習慣の定着状況が分かります。ぜひ、家庭において家庭学習記録シートを見ながらの会話や声掛けをしていただければと思います。

家庭において子どもたちが自ら進んで学習していくよう、ご協力の程、よろしくお願いたします。

6月行事予定

3日(月)	5月引落日②	18日(火)	水泳学習(1~4年)
5日(水)	委員会活動	19日(水)	体育デー壮行式
6日(木)	スクールカウンセラー来校	21日(金)	体育デー(6年)
7日(金)	全校4時間授業	24日(月)	4年校外学習
	1年校外学習	25日(火)	プール清掃
	クラブ活動	26日(水)	歌声集会
11日(火)	歯科検診 (2・4年・麦のめ・しあわせ)		委員会活動
12日(水)	耳鼻科検診(1・2・3・5年)	27日(木)	スクールカウンセラー来校
14日(金)	歯科検診(1・5年)	28日(土)	6月引落日①
17日(月)	歯科検診(3・6年)		避難訓練
			保護者引渡訓練

行事予定が変更になったときは、まちコミメールで連絡します。



5月9日(木)に「1年生を迎える会」が行われました。

緊張した様子で6年生に手を引かれ入場した1年生でしたが、各学年からのゲームやクイズ、贈り物など、プログラムが進むにつれて緊張していた様子がほぐれ、2年生以上のお兄さん、お姉さんたちと仲良く、楽しみながら過ごした時間となりました。

2~6年生も、各学年で1年生に喜んでもらえるように内容や贈り物

を考えたり準備したりと、学校を挙げて1年生を迎えることができました。

着衣泳指導(6年生)

5月13日(月)、戸山西小プールで着衣泳指導が行われました。

不意に海や川に落ちたときどうする?

- 服や靴を脱ぐ
- 声を出したり、手を振って助けを呼ぶ
- 岸に向かって泳ぐ

実は、これらはすべて「やってはいけないこと」なのです。では、落水したときどうすればいいのか。着衣泳は、いざというとき、「呼吸を確保し、救助されるまで浮き続ける自己保全を目的とした対処法」です。

今回6年生は、着衣時に落水したときの動きにくさ、濡れた服の重さを感じ取ったり、呼吸を確保しながら浮く「背浮き(ラッコ浮き)」やペットボトルやレジ袋を利用して浮く体験をしたりしました。学校に戻ってからは、日本赤十字社の着衣泳に関わる動画を視聴し、更に知識を深めることができました。

運動会



5月25日(土)、晴天のもと「令和6年度大運動会」が多数のご来賓と保護者の皆様をお迎えして開催されました。

総練習時の暑さから打って変わって気温が下がり、肌寒い中での運動会でしたが、子どもたちの熱気と観覧された皆さんの拍手と声援で、熱い運動会となりました。

保護者の皆様におかれましては、車によるご来校のご遠慮の呼びかけにご協力いただき感謝申し上げます。また、PTAの皆様には、各係にご尽力いただき、ありがとうございました。